

平成 29 年度版 CROWN English Expression I New Edition

発行者番号	教科書の記号・番号
15 三省堂	英 I 323

1. 内容

- 各課の導入文や例文、練習問題には、文法学習のための人工的な英文ではなく、実際に高校生が日常生活で用いるような現実的な文が英文で示されており、書くためのモデルとして適切である。
- 題材として、自分自身に関する事柄から外国文化、学校生活、芸術、日本文化、環境問題、国際問題、歴史、異文化理解、科学、宇宙、日本の地方都市、建築、旅行、産業・技術、人生・生き方など、生徒の興味や関心を喚起する多様な内容を扱っている。
- 10 課の Lesson の Grammar では、英文を書くために必要な文型・文法が体系的に取り上げられており、英文を書く能力の基礎・基本の徹底に配慮がなされている。
- 10 課の Lesson の Express Yourself では、スピーチやプレゼンテーションの型を学びながら、自力でスピーチ・プレゼンテーション原稿をまとめ、最終的にはスピーチやプレゼンテーションの活動を行う筋道が示されている。
- 全課を通して「書く」活動と「話す」活動が適宜織り交ぜられており、「英語表現」という名称の教科に相応しい言語活動に重点が置かれている。

2. 構成・分量

- 本課 Lesson の前に〈はじめに〉を設定し、「基本 5 文型」「品詞」「句・節」についての説明と確認問題を用意し、本課 Lesson に入る前の準備ができるように配慮されている。
- Writing に重点を置く Grammar、Speaking に重点を置く Express Yourself とも、見開き 2 ページで構成されており、授業展開が分かりやすい。各課の分量も無理なく学習できるように配慮がなされている。
- Grammar 部分の構成が、導入文の提示、〈Start-Up Grammar〉(中学英語の復習)、〈Grammar〉(文法・文型の確認)、〈Exercises〉(練習問題)、〈TRY〉(その課で学習する表現を用いた即興で行う自己表現問題)となっており、学習活動のプロセスに配慮がなされている。
- Speaking 部分の構成が、〈Input〉(情報の提示)、〈Output〉(スピーチ・プレゼンテーション原稿の見本)、〈Tool Box〉(「発表に必要な表現」及び「つなぎ言葉」の知識)、〈TRY〉(生徒の自己表現問題)となっており、分かりやすい授業展開で、まとまりのあるスピーチ・プレゼンテーション原稿を書き、また実際にスピーチ・プレゼンテーション活動

を行うことができるように配慮されている。

- ・ 文法のまとめ：問題編（3～4 課毎に設定されている文法の復習問題）と文法のまとめ：解説編（日本人学習者が誤りやすい英語表現の例）が、それぞれ 3 箇所ずつ設けられている。

3. 表現、使用上の便宜

- ・ 各課 **Exercises** の設問が、原則として、空所補充、整序、部分英訳、全文英訳という出題形式で統一されており、学習がしやすい。
- ・ 各課の最後の〈TRY〉は自己表現問題であるが、自由英作文の課題にもなる。
- ・ 3～4 課毎に復習問題が設定されており、「振り返り学習」が行いやすい。

4. その他

- ・ 4 色刷りで明るく、見やすく、ゆとりのある誌面構成である。
- ・ 各課に、内容に即した写真が配置されていて、生徒が書くためのイメージを喚起するのに役立つ。
- ・ 付録が充実している。付録①の〈各課の基本例文〉は、各課 **Grammar** の基本例文が対訳形式で和訳と共に収められており、各課の練習問題を解く際や自己表現問題の英文を書く際に適宜参照でき、また例文の暗記暗唱学習にも使いやすい内容である。また付録⑦の〈語彙集 (Vocabulary)〉は語彙力の増強に効果的である。